

経営体の概要

- ・所在地：栃木県栃木市
- ・経営体名：個人経営
- ・栽培作物・作付面積：トマト（越冬長期どり）・1.15ha
- ・従業員数：19名（固定給社員1名、パート職員18名）（令和6年5月現在）

導入技術

- ・アグリネットクラウドコントローラ（（株）ネポン製）
- ・統合環境制御盤 MC-6001（（株）ネポン製）
- ・アグリネットは、センサーでハウス内環境を経時的に測定し、PCまたはスマートフォンでモニタリング出来る。
- ・MC-6001と組み合わせることで、遠隔でハウス内の設定値変更が可能。



導入経緯

- 単収向上のため、平成20年からCO₂施用、23年からハウスモニタリングなど環境制御技術を取り入れた。
- しかし、設定変更の度に各圃場をまわる必要があり、手間がかかった。
- そこで、端末があればどこからでも設定変更出来るアグリネットとMC-6000を平成29年に導入し、環境管理の効率化を図った。また、令和5年にはMC-6001に更新した。

取組の特徴・効果

- ハウス内環境の経時的な変化を把握できる。
- 過去のデータを振り返ることができる。
- 生育調査による草勢把握と合わせることで、より正確な生育のコントロールが可能になった。
- 過去のデータを容易に振り返ることができるため、管理の反省・改善がしやすくなった。
- 環境制御装置導入やCO₂施用開始後、単収は25t前後から増加し、30t前後で安定するようになった。
- スマホを経由した遠隔制御が可能。
- どこにいても、ハウスの環境データをスマホから確認し、設定を変更できるようになった。
- 突然の天候の変化などにも対応できるため、安心して外出できるようになった。